

■柳町小学校 6年 国語「デジタル機器と私たち」

授業のねらい

○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

【単元全8時間】

- ①学習の見通しをもち、各テーマの現状を考える(テーマA：学級の課題、テーマB：デジタル機器の扱い方)。
- ②テーマごとのグループに分かれ、現状や課題について調べる(テーマA：クラスメイトにインタビュー&formsによるアンケート、テーマB：スマホの使用状況のネット検索)。
- ③集めた情報を整理し、課題に対する提案をグループで話し合う。
- ④提案する文章の構成を知り、グループの中で「1提案のきっかけ」、「2提案」、「3まとめ」の役割を分担する。
- ⑤教科書 P80 の提案文の作例(2次元コードから読み取り)をもとに、自分の分担の文章を word で書く。
- ⑥⑦分担した文章をグループまとめ用の word ファイルに張り付け、共同編集機能を活用して推敲し、筋道の通った文章になるようにグループでまとめる。
- ⑧グループ提案会を行う。

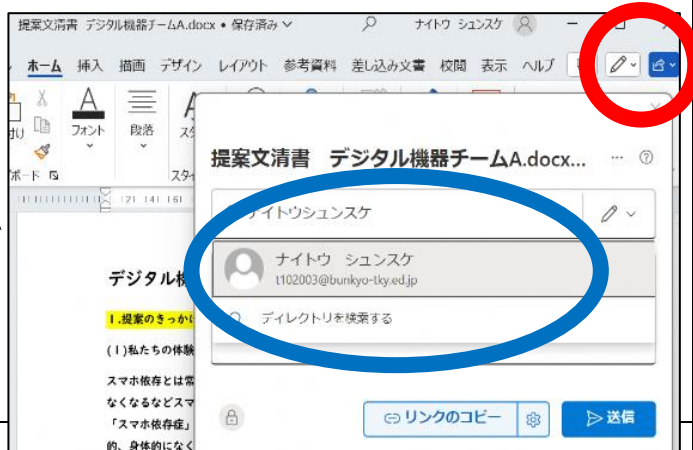
児童の様子

- ②forms によるアンケート作成は係活動等で日常的に行っていたため、作成も回答もスムーズに行っていた。またアンケート結果のグラフをスクリーンショットして提案文に添付するグループも見られた。
- ②ネット検索による情報収集は、「スマホ利用 課題」など検索の仕方を指導し、グループで一番課題と感じるものを選ぶように声掛けしたところ、学習課題とあまり逸れずに検索することができた。
- ⑤教科書掲載の提案文は途中で終わっていたので、2次元コードを活用することで全文が表示され、児童も見本を参考に提案文の担当の部分を書くことができた。
- ⑥⑦word の共同編集を活用することで、グループで相談しながら推敲することができた。教師が意図的なグループ編成(書くことが得意な児童と苦手な児童を全グループに振り分ける)をすることで、グループ内で補い合いながら推敲・まとめをする様子が見られた。



- (1)○
共有ボタンを押す

- (2)○
招待したい児童名を入力し、送信ボタンを押す。
※招待された児童は承認することで共同編集が可能になる。
※図2は例として教師の名前を入力している。



成果

○単元末に提案会を設定したことで、提案文を書き終えることだけに終始せず、どのグループも提案会を見据えて文章を書いていた。一つの紙に・頭をより合わせて・手書きで推敲するよりも、それぞれの端末の画面で・即時に、相談しながら・タブレット端末で推敲することで、「筋道を通った文章にまとめる」というねらいの達成のために、共同編集機能が有効であった。

課題

- 個人が全文を書くわけではないので、記録に残す評価は⑤の自分の分担した文章にした。しかし「1提案のきっかけ」「2提案」「3まとめ」の役割によって書く内容が異なるため、評価規準の再設定が必要だった。
- ⑤個人の文章、⑥グループまとめ用の文章ファイルは元データを教師が作成するなど、アナログで実践するより多少準備に時間がかかる。